

神戸ビーフの供給状況について

1 但馬牛繁殖雌牛頭数

- (1) 国内外の神戸ビーフの需要に応えるため、但馬牛繁殖雌牛の増頭に取り組んでおり、令和17年度の目標は16,000頭（「ひょうご農林水産ビジョン2035」）としている。
- (2) 令和7年度の但馬牛繁殖雌牛の実頭数は13,659頭（(公社)全国和牛登録協会調査）となり、前年からほぼ横ばいとなった【表1】。
- (3) 主な要因は、新規登録頭数は前年並みであった一方、堅調な子牛価格により廃用頭数が減少したためと考えられる。

【表1】但馬牛繁殖雌牛頭数

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R17 目標
頭 数	14,145	14,001	13,993	13,824	13,577	13,659	16,000
新規登録頭数	1,844	1,681	1,711	1,621	1,519	1,500	—
廃用頭数	1,759	1,825	1,719	1,790	1,766	1,418	—
前年比	+85	△144	△8	△169	△247	+82	—

(公社)全国和牛登録協会調べ

2 神戸ビーフの認定頭数と輸出量

- (1) 神戸ビーフ認定頭数は令和5年度まで増加していたが、近年の繁殖雌牛頭数の減少に伴い令和7年度は6,642頭と減少した【表2】。
- (2) 神戸ビーフの輸出量はインバウンドをはじめとする国内需要の高まりに伴い令和5年度以降より減少し、令和7年度は48.4tと前年からほぼ横ばいで推移している【表2】。

【表2】神戸ビーフ認定頭数と輸出量

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R17目標
神戸ビーフ認定頭数	6,120	6,298	6,623	6,846	6,820	6,642	8,000
神戸ビーフ輸出量(t)	44.1	72.7	78.0	68.5	47.3	48.4	100.0

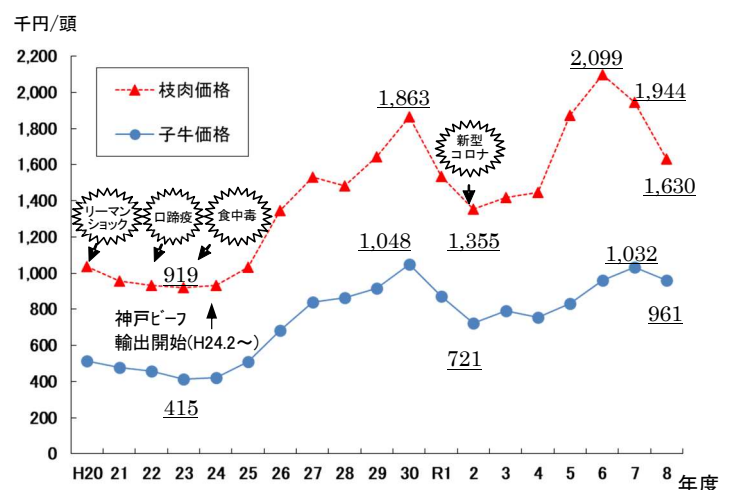
神戸肉流通推進協議会調べ

3 但馬牛の枝肉及び子牛価格

- (1) 但馬牛(神戸ビーフ含む)の枝肉価格(去勢)は過去最高で推移していたが、物価高による節約志向や中国からの団体観光客の減少等により、令和8年度にかけて低下している。
- (2) 但馬牛子牛価格は令和4年度以降全国トップの高値で推移している。

4 今後の対応

需要拡大対策を進めるとともに、引き続き牛舎整備や繁殖雌牛の増頭促進等に取り組み、繁殖雌牛の増頭と神戸ビーフ素牛の増産を目指す。



但馬牛の枝肉価格と子牛価格の推移 (畜産課調べ)

※令和8年度は9月末時点の数値

〈問い合わせ先〉

農林水産部畜産課肉用牛振興班 TEL 078-362-3454